



てんかんセンター巡り 第7回

東京医科大学八王子医療センター

施設概要

住所 〒193-0998 東京都八王子市館町 1163
電話 042-665-5611
ホームページ <http://hachioji.tokyo-med.ac.jp/>

病床数	610床	診察時間	各科初診日 予約なし
診療科の数	34科	・脳神経外科	：月 8時30分～11時
日本てんかん学会 専門医(指導医)の人数	脳神経外科 1人	・小児科	：火、金 8時30分～11時
		・神経内科	：火 8時30分～11時

施設の特徴・地域の中で担う役割

東京医科大学八王子医療センターは1980年4月、八王子市の誘致を受けて現在の地に開院しました。当センターは、東京西部の自然豊かな高尾山の程近くに位置しており、八王子市57万人を含めた南多摩医療圏142万人の中核病院として、「先進医療」と「地域医療」の両者の機能を果たしています。三次救命救急センター、災害拠点病院、感染症指定医療機関、がん診療連

携拠点病院の指定を受け、てんかん診療や移植医療の推進をはじめとした、時代に即した高度先進医療を実践しています。



外観



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

てんかん診療の特徴

当施設は三次救命救急センターを併設しているため、てんかん重積状態となった場合の受け入れも行っています。また、東京都の西部に位置するという当施設の立地条件と、施設屋上にヘリポートを設置していることから、山梨県や神奈川県等からの救急にも対応しています。



消防庁ヘリ

てんかんの診断は、入院検査でのビデオ脳波モニタリングシステム（一般病棟とICU）を活用して行い、発作の抑制を目的とするだけでなく、小児では精神発達の改善を、成人では就労支援等を行うことも必要になってきます。このような包括的診療を可能にするため、救命救急センター・小児科・神経内科・脳神経外科・メンタルヘルス科・特定集中治療部（ICU）・看護部・中央検査部（生理検査）・放射線科・リハビリテーション・薬剤部・臨床心理士・医療福祉室と連携し、各部署の専門性を生かした診療を行っています。また、てんかんカンファランスを開き、患者さんの問題点について検討を行っています。当カンファランスは、地域連携の重要性

から近隣の先生をお招きして意見交換の場にもなっています。

今後の目指す当施設の目標

本邦のてんかん患者数は100万人に及ぶと推定され、特別な疾患ではありません。しかしながら、一般市民の方のてんかんに対する認識は、十分であるとは言えません。例えば、ある市町村で行った市民意識調査では、「てんかん発作の特徴は？」との質問に対し87%の市民は、「転倒する発作、全身けいれん」と誤った理解をしていました。この現状を見ると、われわれの仕事は、まだまだ十分ではないと言えます。

当施設では、一般市民の方にてんかんの正しい認識を持っていただくため、近隣地域の方との勉強会の回数を増やし、一方では、救急患者の受け入れから外科治療まで行える機能を持った地域の中核施設としての役割を、より充実させていきたいと考えております。（脳神経外科 講師 須永 茂樹）

